

金融仲介機能のベンチマークについて

2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)



当金庫の「金融仲介機能のベンチマーク」への取り組みについて

平成28年9月に金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が策定され、地域金融機関は、取引先企業の事業の実態をよく理解して、企業価値向上等に資する融資やコンサルティングなどを通じ、適切な金融仲介機能を発揮することが求められています。

当金庫は、取引先企業の企業価値向上に取り組んでいくうえで、「金融仲介機能のベンチマーク」を活用して、その取り組みが有効に機能しているかを評価し、当金庫と取引先企業の共通価値の向上に努めてまいります。

共通ベンチマーク1

〈金融仲介機能〉

取引先企業の経営改善や成長力の強化

ベンチマーク

金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(前年度比で売上高もしくは従業員数)の改善が見られた先数(先数はグループベース)

	2021/3	2022/3
メイン先数	986先	1,000先
メイン先の融資残高	437億円	466億円
うち経営指標等が改善した先数	563先	431先
上記の融資残高	261億円	172億円

メイン先について、2020年度より先数+14先、融資残高+29億円となっていますが、経営指標等が改善した先は2020年度より▲132先となっており、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けて厳しい経済環境のなかにおいて改善が難しい状況となっています。

共通ベンチマーク2

〈金融仲介機能〉

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ベンチマーク

当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(先数はグループベース)

	2021/3	2022/3
貸付条件変更数	115先	117先
好調先	1先	3先
順調先	27先	20先
不調先	87先	94先

貸付条件変更先について、2020年度より+2先となっておりますが、不調先は+7先となっており、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、経営改善計画の進捗が厳しい状況となっております。

共通ベンチマーク3

〈金融仲介機能〉

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ベンチマーク

当金庫が関与した創業、第二創業の件数

	2021/3	2022/3
当金庫が関与した創業件数	17先	47先

創業について、創業または創業から5年未満のお取引先に対して、創業計画書の策定や融資などに関与していますが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大等により大幅に減少していましたが、例年と同水準まで回復しました。

共通ベンチマーク4

〈金融仲介機能〉

取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

ベンチマーク

ライフステージ別の与信先数および融資額(先数単体ベース)

		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	2021/3	1,947先	66先	90先	998先	82先	124先
	2022/3	1,967先	68先	94先	900先	194先	124先
上記与信先に係る融資残高	2021/3	810億円	30億円	44億円	369億円	15億円	98億円
	2022/3	839億円	19億円	39億円	336億円	79億円	96億円

※創業先以外で5期連続した決算書がない取引先についてはライフステージ別の分類を行っていません。

ライフステージについて、「創業期」、「成長期」、「安定期」のお取引先は1,062先(53.9%)となっていますが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により「低迷期」のお取引先が2020年度より+112先(+5.6%)となっており、更に厳しい経営環境となっています。

共通ベンチマーク5

〈金融仲介機能〉

担保・保証依存の融資姿勢からの転換

ベンチマーク

金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額及び全事業性与信先数及び融資額に占める割合(先数単体ベース)

	2021/3		2022/3	
	先数	融資残高	先数	融資残高
事業性評価に基づく 融資を行っている 与信先数及び融資残高	197先	134億円	303先	198億円
上記計数の全与信先数 及び当該与信先の 融資残高に占める割合	10.1%	16.5%	15.4%	23.6%

事業性評価に基づく融資について、お取引先のさまざまな資金需要に対して積極的に事業性評価に基づく融資を実行した結果、2020年度より先数+106先、融資残高+64億円となっており、2020年度より割合も先数+5.3%、融資残高+7.1%と増加しています。

独自ベンチマーク1

〈金融仲介機能〉
本業支援

ベンチマーク

本業支援(顧客の育成発展に貢献する支援)を行っている先数及び融資額、全事業性融資先数及び融資総額に占める割合(条件変更先を含む)。

	2021/3		2022/3	
	先数	融資残高	先数	融資残高
本業支援先	215先	107億円	320先	164億円
〃 (割合)	11.0%	13.3%	16.2%	19.6%

本業支援(顧客の育成発展に貢献する支援)

- ① 創業支援及び第2創業支援
- ② M&Aを含む事業承継支援
- ③ 販路開拓支援
- ④ 経営改善支援
- ⑤ 人材および労務支援
- ⑥ その他経営力向上支援

本業支援について、お取引先の発展に貢献できる6つの本業支援に積極的に取り組んだ結果、前期より先数+105先、融資残高+57億円となっており、前期より割合も先数+5.2%、融資残高+6.3%と増加しています。

独自ベンチマーク2

〈金融仲介機能〉
本業支援

ベンチマーク

本業支援(顧客の育成発展に貢献する支援)を行っている先のうち経営指標に改善がみられた先、本業支援先に占める割合(条件変更先を含む)。

	2021/3	2022/3
	先数	先数
経営指標改善先	53先	114先
〃 (割合)	24.6%	35.6%

経営指標改善先: 売上高または営業利益が前期比増加している先
割合: 経営指標改善先数 ÷ 本業支援先

経営改善先について、お取引先の発展に貢献できる本業支援に積極的に取組んだ結果、2020年度より先数+61先となっており、割合も先数+11.0%と増加しています。経営環境が厳しいなか、35.6%のお取引先の売上高または営業利益が改善(増加)しています。